



発行 No. 第137号

発行日 令和2年9月15日
 発行人 川浪 廣次
 発行所 公益社団法人 福島市
 シルバー人材センター
 福島市東浜町11-40
 電話(024)531-2511
 ホームページ <https://webc.sjc.ne.jp/fukushima/>



**令和2年度定時総会開催
 ~新型コロナの影響で規模縮小の開催~**

令和2年度定時総会が6月23日(火)とうほう・みんなの文化センターで開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの会員の方には書面での議決権行使書等にご協力いただき、当日出席者31名を含めて897名に参加していただきました。

はじめに川浪廣次理事長の挨拶があり、石井茂さんを議長に選出し、提出した議案の審議が行われ、各議案について原案どおり承認されました。

〈令和元年度事業報告・収支決算報告〉

請負・委任契約の受注件数、契約金額は減少しましたが、派遣契約金額が若干増加し、横ばいの傾向でした。会員数については、新入会員は増加しましたが、退会会員数が昨年より上回ったため会員数の減少となりました。

〈定款の一部変更について〉

会員の入会手続きについて、緊急を要する際には

理事会の承認を経ずに理事長において専決処分をすることができるように変更しました。

〈理事の選任について〉

千葉修事務局長が新たに理事に選任され、業務執行理事を兼務することになりました(P2に掲載)。退任された斎一昭元常務理事におかれましては、センター運営にご尽力賜り感謝申し上げます。

〈令和2年度事業計画・収支予算〉

公益性の高い地域に根ざしたセンターとして更なる普及啓発を図り、会員の増強に努めます。

また、昨年元職員の不正行為により失ってしまった市民の皆様の信頼を回復すべく、センターの機能強化にむけ、会員、役職員相互の連携を深めながら円滑な事業推進に努め、事業に取り組んでまいりますので、皆さまのご協力をお願いします。



新事務局長からの挨拶

新事務局長
千葉 修



このたび、前事務局長斎一昭氏の後任として事務局長に就任しました千葉修です。引き続き福島市シルバー人材センターへのご理解、ご協力を賜れば幸いです。

さて、新型コロナで健康不安が増している中、高齢化が加速し、生産年齢人口が減少する中、サービス業などの人手不足分野や介護・育児等の現役世代を支える分野で、高齢者の就業によって下支えすることは、国の経済・社会の維持・発展のために極めて重要になっており、本センターの役割が増してきているものと認識しております。

今後も「自主・自立」「共働・共助」を基本理念とし、会員の皆様と共に、地域に愛されるセンターを目指して参りますので、引き続き、応援をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

マッチング支援員のご紹介

福島県シルバー人材センター連合会から、お客様の要望と会員さんの要望を調整（マッチング）するマッチング支援員として加藤勇さんが就業しております。就業に関する相談をしたい方はお気軽にお問い合わせください。



加藤 勇さん

皆様の仕事と仲間を通じた生きがい作り、同じ志を持つ会員の増強に精一杯頑張ります。宜しくお願いします。

安全就業巡視パトロールを実施 ~気をつけて! 仲間の一言 事故ふせぐ~



今年度も除草、庭木手入れ等の仕事が最盛期を迎えており、連日の猛暑の中、日々多くの会員の方が就業しています。

安全には十分留意して就業しているとは思いますが、残念ながら事故が多発しています。安全就業推進会議では、体調管理が難しい屋外作業の現場を中心に、8月下旬から9月上旬にかけて全14ヶ所で安全就業巡視パトロールを実施。就業現場の状況確認や就業中の実態、作業前後の安全確認について点検を行いました。



就業現場の状況や、安全帯・ロープなどの工具の確認をしました。



もう少し残暑は続きそうです。体調を管理しながら無事故をめざしましょう!



事業レポート

刈払機取扱者安全衛生教育(講習会)

6月26日 於:シルバー人材センター・腰浜緑地公園

草刈り作業をしている会員を対象に、刈払機の取扱いに関する講習会を開催し、15名の会員が参加しました。

住友建機販売(株)北海道東北統括部CS部カスタマーサポートグループの遠藤篤様と大谷直輝様を講師に招き、前半は刈払機に関する知識と振動障害及びその予防に関する知識の講義がありました。後半は場所を腰浜緑地公園に移し、汗を流しながら真剣に実技教育を受けました。



今年度も飛び石によるガラス破損等の事故が発生しています。修了証を手にした会員は、充実した講習会を終え、教えていただいた知識を明日からの仕事に活かすべく、改めて事故ゼロを目標に掲げていました。

事故ゼロはセンターの永遠の目標です。センターではこれからも安全に係る講習会や情報提供を随時行っていきますので、安全就業にご協力をお願いします。

庭木班方部班長会議

4月3日 於:シルバー人材センター多目的ホール

菊地博統轄班長、遠藤隆雄統轄副班長をはじめ、方部班長全5名が参加し、安全就業に係る適正就業についてや、事故の再発防止について協議をしました。年間計画件数に基づき、安全就業に心がけ、「楽しく仕事をする」ことをモットーに、健康管理に留意することを誓い合いました。



軽作業班班長会議

4月6日、5月18日 於:シルバー人材センター多目的ホール

軽作業班は現在7地区に分かれ就業をしていますが、今年度から統轄・統轄副班長を置くことに決め、統轄班長に蓬萊班長の小野秀夫さん、統轄副班長に中央班長の猪口圭吾さんが選出され、新たな体制で今年度の就業をスタートしました。

また、庭木班同様に年間計画件数を設定し、無理のない就業を目指すことになりました。



その他の主な事業(4~8月)

- 4月 17日 運営調整会議
- 20日 地区委員・地区班長会議(地区委員のみ)
- 23日 理事会/安全・適正化就業委員会
- 5月 15日 運営調整会議
- 20日 理事会/安全・適正化就業委員会
- 6月 2日 臨時理事会
- 12日 運営調整会議
- 17日 理事会/安全・適正化就業委員会
- 7月 14日 入会説明会
- 17日 運営調整会議
- 22日 理事会/安全・適正化就業委員会
- 8月 3日 総務委員会
- 5日 就業開拓委員会
- 11日 広報委員会/入会説明会
- 12日 運営調整会議
- 19日 理事会/安全・適正化就業委員会



7月30日 県シ運主催「安全・適正就業推進大会」
当センターからは安全就業推進会議の小林委員長、早坂副委員長・小野副委員長、事務局長、業務係長が参加(於:キョウワグループ・テルサホール)

福島市シルバー人材センター安全標語「気をつけて! 仲間の一言 事故ふせぐ」

事務局からのお知らせ

福島市シルバーまつり中止について

新型コロナウイルス感染症感染拡大が収まらず、皆様の健康を第一に考え、まことに残念ではありますが、今年度は「福島市シルバーまつり」の開催を中止とさせていただくことになりました。なお、人気のある再生自転車頒布は下記のとおり実施いたします。

再生自転車抽選頒布会

- 日時 10月15日～30日(土日除く)
9:00～16:00
- 方法 上記期間展示し、抽選申込を受付、11月に抽選。その後申込者全員に当落の連絡をします。

下半期入会説明会

「1会員新規会員1名確保運動」展開中!!
下記日程で入会説明会を開催予定です。

10月13日、11月10日、12月8日
1月12日、2月9日、3月9日
(毎月第2火曜日午後1時30分～)



※新型コロナウイルス感染防止のため中止となる場合がございます。状況を見極めて判断するようになります。お知り合いに入会希望の方がいる場合は、誠に恐れ入りますが、各会の月初めに事務局にお問い合わせのうえ、お越しくさるよう申し添えください。

配分金支払日

8月分▶ 9月30日(水) 10月分▶ 11月30日(月)
9月分▶ 10月30日(金) 11月分▶ 12月28日(月)

※配分金明細書をご希望の方は事務局に声をかけてください。

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

- 丹治 春雄 様 (84歳) 佐倉
- 佐藤マサ子 様 (77歳) 岡山A2
- 猪俣 俊男 様 (84歳) 四小B2
- 糸山 章 様 (75歳) 成川
- 佐久間 進 様 (72歳) 飯坂B
- 鈴木 由近 様 (64歳) 森合A

新職員のご紹介

5月から職員となりました2名をご紹介します。



田代 藍

生きがい就労実現のため、仕事へ対する誠実さを忘れず、「志は当に高遠に存すべし」の精神で頑張ります。

富塚 郁実

一日でも早く仕事を覚えて会員の皆様の役に立てるよう、精一杯頑張りたいと思います。これからよろしくお願ひ致します。



会員の「声」を募集しています!

仕事の体験談はもちろん、特技、趣味、旅行記や就業時におけるヒヤリ・ハット体験談など、なんでも構いませんので、みなさまの「声」をお寄せください。随時受付中です。(事務局担当：川口、宍戸、田代)

編集後記

コロナ禍の影響で2年ほど通っていたジムを退会した。その後、巣ごもり状態からのコロナ太り解消の為、5月から早朝ウォーキングを始めた。晴天が続く薫風の中、野鳥の声を聴きながら、爽やかな朝だった。6月に入ると田植えが終わった水田に山々が映り込み、その静かな佇まいに思わず立ち止まって写メ。いい写真が撮れた。7月、白鷺が緑の田に舞い降り餌をついばむ。その白と緑のコントラストはあたかも一幅の絵のようで美しかった。8月には真っ赤に色づいた桃の実が朝日に輝き、汗ばんだ体にエールをもらった。このように移り行く福島の自然の美しさを、朝の1時間で体感できるこの楽しみが私の背中を押す。最後にもう一つ気づいたことがある。早朝から田畑で多くのお年寄りを見た。活き活きと働くその姿は、見ていてとても気持ちのいいものだ。会員の皆様の益々のご活躍を願いつつ、編集後記とします。(小澤)